新型コロナウィルス感染拡大注意！再度，「手洗い」「マスク着用」「三密注意」を心がけよう。

玉造中だより
楽し学舎（まなびや）
No. 36
R3・2・1

二年生対象の「キャリアデザイン教室」開かれる！

Connecting the Dots.　Have a Dream.

小泉社長のリモートでの講演

二十八日の午後、二学年の生徒を対象に「キャリアデザイン教室」が開催されました。これは鹿島アントラーズがホームタウンの子どもたちに、オフィシャルパートナー企業の経営者を派遣し、「夢を持つこと」や、その夢に向かって努力することの大切さ」「仲間と協力することの大切さ」を伝えたいという思いから開催されました。今回は新型コロナウイルスの感染拡大の影響もあり、実際には講師は来校できずに、オンラインでの講演会となりました。講師には、鹿島アントラーズの社長でもある小泉文明氏に講演していただきました。オンラインの講演会には、玉中だけでなく麻生中、北浦中も参加し、たくさんのマスコミの方々も来校しました。

なめテレ，NHKも入りました

二つのキーワードが支えてくれた

最初に小泉先生からこれまでの自分の生き方についての話を聞きました。

先生の話の中に、自分をこれまで支えてくれた二つの言葉の紹介がありました。一つは「Connecting the Dots.」点と点をつなぐ。つまりつながりを持って生きること。二つ目は「Have a Dream.」夢を持つこと。この二つの言葉が小泉先生を支えてくれました。中学入学後にすぐに「勉強では勝負できない」と挫折し、さまよっていた時期があった。でも、勉強以外のことで勝負しようと、興味のあった洋楽やファッション、パソコン、部活動に中高生時代は没頭した。そのときに、自分の好きなことを突き詰めていくと、「なぜ勉強するのか」につながったということでした。

リモートでの司会も大変でした

大学を卒業し社会人になっても、二つの言葉が小泉先生を動かし、「やりたいことをやろう」「自分以外にできないことをやろう」という思いで会社を辞め、二十六歳で起業し、二十人の会社を八百人の従業員を抱える会社にまで成長させました。

四十歳になった今でも、小泉先生は好きなことを見つけチャレンジしていく気持ちは変わっていないそうです。それは、中学校時代に「好きなことを見つけ、学び続ける」という経験が今に生きているということでした。

講演の最後に、小泉先生が「未来の仕事」について語ってくれたことが印象的でした。これからの時代は、自分のやりたいことを見つけなくてはならない時代になる。だから中学校時代に夢を持って、いろいろなことにチャレンジしていくことで、自分の一生涯の仕事に出会える、だから今このときが大切なんだということを話していました。

今回、小泉先生の話を聞いて、何か自分の心に引っかかったことがあれば、それをこれからの学校生活に生かしてくれれば、きっと今日の講演会が有意義な時間になったはずです。

「キャリアデザイン教室」に参加しての感想

小泉さんの話を聞いて、今まで知らなかったことをたくさん知ることができました。また、小泉さんのこれまでの人生を聞いて元気づけられました。私も最近テストの結果が落ちて落ち込んでいましたが、「keep learning」という言葉を聞いて頑張ろうと思いました。そして、小泉さんが「これからはテクノロジーが発達して仕事がなくなる」といっていたことが印象的でした。私はホテルウーロンになりたいけれど、ボットがやるようになるとしんじゃないかとぞっとしました。だけど自分のやりたいことだけ気から、頑張れるという気持ちになりました。

今回のアントラーズキャリアデザイン教室で小泉さんの中学校生活や高校生活の話を聞いて、自分もやりたいことをあきらめずに頑張ろうと思った。小泉さんが中学時代に経験したことが挫折を私も経験したことがあるので、これからすの人生どうふうにしていきたいかを考えて生活したいと思った。

物を買ったり、買いたいと思った。

今日の話を聞いて、人生は一度きりなので自分のやりたいことを見つけて、充実した中学校生活を送っていきたいと思いました。

小泉さんは自身も今はアントラーズの社長やアンバサダーなどの営業もしていますが、中学校時代に好きなことを見つけられたことを知り、自分もこれからは勉強を頑張っていきたいと思いました。

代表者による質問

ぼくは小泉さんの話を聞いて一番心に残っていることは未来の仕事です。機械化が進んで仕事がだんだんなくなってマイナスな方向に行ってしまうのだと思っていたけど、一人一人の個性が生きる、そういう言葉を聞いて、だれでもプラスの考え方が強く印象に残っています。また、そのことから「自分の好きなことを見つける」という課題もできてよかったです。

そしてコロナがおさまったら、アントラーズの試合も見に行きたいと思いました。

編集後記

「心が変われば行動が変わる」

あの元大リーガーの松井秀喜氏の座右の銘が「心（意識）が変われば行動が変わる」である。この言葉は、松井選手が星稜高校時代に野球部の監督からおくられた言葉であったりの生徒は私の周りにもたくさんいたが、その一人の生徒は、それまでは、どちらかというと、始業時刻ぎりぎりくらいに登校してきたとのこと。そんな言葉に生徒で、登校してきたときは無表情、私から声をかけてもぶっきらぼうな返事で、いつもどうしたのかなと思っていた。

十一月に入り、その生徒が突然早く登校するようになった。そしてそれが毎日続いた。担任に理由を聞くと「三者面談で自分の進路がはっきりして、このままではダメだと思いました。朝早く登校して勉強している。」と言うことであった。

三年生の前半は目標もはっきりせず、不安定な状態であったが、目標がはっきりしたことで自分が今しなくてはいけないことが明らかになり、勉強にも力が入るようになった。

朝、出勤するときに、車の中から彼女の姿を見ることが多くなった。寒い朝にもかかわらず、一生懸命自転車をこぐ姿。夏の頃とは別人のような明るく、自信に満ちた表情だ。

登校したときも、明るく答えてくれる。「意識が変われば行動が変わる」まさにその言葉が目標がみつかったことで、やる気が変化したのだ。自分の進路が生まれ、それが行動の変化につながった。彼女だけでなく、誰にでも「心（意識）」を変えればできるはずだ。

（文責：小野口　吉政）